

平成30年(2018年)1月号

いんふおめーしょん information

(「くにたちのとしょかん」通号145号)

くにたち中央図書館

〒186-0003 国立市富士見台2-34

☎042-576-0161

くにたち北市民プラザ図書館

〒186-0001 国立市北3-1-1 9棟

☎042-580-7220

<https://www.library-kunitachi.jp>

新年明けましておめでとうございます



本年もくにたち図書館をどうぞよろしくお願
いいたします。

みなさんは「冬」といえば、どんなことをイメ
ジされるでしょうか。今月号は「冬といえば……」
というテーマで図書館員がおススメする本をご紹
介します。



蔵書点検のため臨時休館いたします

臨時休館日

中央図書館・北市民プラザ図書館ともに
1月22日(月)～26日(金)

※1月23日(火)は定期休館日です。

※各分室は通常通り開室します。

図書館所蔵資料の所在確認作業のため、上記
の日程で臨時休館します。休館中は電話による
予約等はできません。また、本の返却は駅前の
返却ポスト、各図書館の返却ポストをお願いい
たします。

利用者の皆さまにはご迷惑をおかけしま
すが、ご理解とご協力をお願いいたします。

問合せ

中央図書館：042-576-0161 北市民プラザ図書館：042-580-7220

蔵書点検って？

蔵書点検は、書棚にある全ての本のバーコードをスキ
ャンし、データベースと突き合せ、所在確認をする作業
です。

もともとは「曝書(ばくしょ)」と言われ、蔵に納めら
れた本などに日光をあて、虫干しをする作業でした。実
際に「虫干し」をする訳ではありませんが、40年程前
まではこの用語が使われていました。資料情報のコンピ
ュータ化とともに、「蔵書点検」と言うようになっていま
す。

この作業により、行方不明の本が見つかることもあり
ますが、残念な事に行方知れずのものも確認されること
があります。図書館にとっては定期的に必要な作業です。





図書館員のおすすめの本 テーマ「冬といえば・・・」



冬のイメージが強い国といえば、ロシア！
寒い冬、一風変わったロシア文学を想像力全開で読んでみてはいかがでしょうか。『鼻/外套/査察官』（ゴーゴリ/著 光文社）は、読みやすい落語調の邦訳で、ロシア文学入門にもお勧め。SF好きなら、未来の統一国家が舞台の『われら』（ザミャーチン/著 岩波文庫）。ファンタジー好きの方は、是非『巨匠とマルガリータ』（ブルガーコフ/著 岩波文庫）に挑戦を！予測不能の自由すぎる展開に、ついていてください！（ノド°）（中央・〇）



冬といえば東山魁夷の描く白い雪におおわれた樹々の日本画を思い出しますが、なんといっても手足の冷えに悩むこの時期、わたしのお勧めは『冷たい飲み物はとるな』（胡伊拉 / 著 幻冬舎）です。著者は中国の医師です。病気の原因はすべて「あなたの行動」の中にあるのです！と語る著者。

風邪を撃退する習慣など中高年の健康意識の高い方、勉強になる事がきっとあると思います。

ぜひ、ご一読ください！！（北・T）



冬といえば「映画と本ですよ」暖かい部屋の中異次元の世界へ入りませんか？

私のお勧めは、『アンドロイドは電気羊の夢を見るか？』（フィリップ・k・ディック/著 早川書房）です。この本が原作となり、映画「ブレードランナー」が作られました。

荒廃した未来都市で起こる人間模様？など現代への風刺としてぐんぐん引き込まれることでしょう。

原書『Do Androids Dream of Electric Sheep?』もいかがですか？

本と映画を見比べるのもお勧めです。（北・D）

私が澄んだ冬の空気の中で読みたくなるのは『富士日記』（武田百合子/著 中央公論社）。夫・武田泰淳と過ごした富士山麓での13年間を綴った日記です。

なんということのない日常を書き留めた文章は、恬淡としながらも、時に冷気のように鋭くてハッとさせられます。買い物や献立の記録など、日々を切り取った日記であるのに、なぜか普遍性を感じさせる不思議な文です。

寒い部屋の中、布団にもぐりこんで、鼻先を冷やしながらか読むのがおすすめ。（中央・U）

『大雪物語』（藤田宜永/著 講談社）

雪に閉ざされた長根県K町に起きる6つの物語です。大雪で逃げる事もできない、外から助けにも来られないという状況で、そこにいる（暮らす）人達のその後の人生が少しずつ変わっていきます。ハラハラしたり、ほっこりしたり、冬の日には暖かい部屋でゆったりと読むのにオススメな一冊です。ぜひ。

（中央・Y）



冬に恋しくなる食べ物といえば、「お鍋」ですよ。

私のお勧めは、37人もの著名な作家の書く「鍋」をテーマにしたエッセイ集『くつつく、お鍋』（阿川佐和子/[他]著 河出書房新社）です。

具材は何を入れるか？出汁は何味にするか？誰とお鍋を囲むのか？様々なメニューやこだわり、エピソードを読むうちに、必ずあたたかいお鍋が食べたくなる、寒い季節にぴったりの一冊です。（中央・T）



一般：今月の本棚（中央館1階）

特集：認知症を知る



厚生労働省によると、2025年には認知症の人が700万人に達すると推測されています。

当事者や介護する家族の方が住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、まずは認知症について理解してみませんか。

魅本帖(みほんちょう) ~わたしのお勧めの本~

『人を見捨てない国、スウェーデン』 三瓶恵子/著 岩波書店 2013

「大学入試の無い国」を研究するためにスウェーデンにやってきた三瓶さんが、スウェーデン社会についてまとめた本です。

一人一人に合わせる教育、家事分担はほぼ男5：女5という世界一進んだ男女平等、日本とかなり違う結婚事情などなど、興味深い内容ばかり。現代社会にストレスを感じているみなさんに、是非読んでいただきたいです。

「魅本帖」は利用者が薦める本の情報板です。常時、原稿を募集しています。中央図書館1階に用紙がありますので、ぜひ皆さんの「おすすめの本」をご紹介します。

児童：今月の本棚（中央館2階階段踊り場）

特集：雪やこんこ 霜も氷も！

この冬はラニーニャの発生で、寒さが厳しくなるようです。霜で屋根が真っ白になったり、霜柱も見かけることが多くなることでしょう。雪もたくさん降るのでしょうか。

『雪の写真家ベントレー』

ジャクリーン・ブリッグズ・マーティン/作 メアリー・アゼリアン/絵 千葉茂樹/訳 BL出版

今から100年以上も前、17歳で顕微鏡付きのカメラを手に入れた少年は、その後長い年月をかけ、雪の結晶の写真を撮り続けます。そもそも、一片の雪が六角形の結晶であることを発見したのもこの少年なのです。アメリカの農家に生まれた少年は、幼い頃から自然の様々なものに興味を持ち、中でも特に心惹かれたのが「雪」。決して豊かとはいえない環境でしたが、両親は息子の願いを叶え、高価なカメラを買い与えたのでした。1931年「雪の結晶 (Snow Crystals)」が出版されます。



『きらきら』谷川俊太郎/文 吉田六郎/写真 アリス館

本当にキラキラと美しい雪の結晶です。撮影した吉田六郎は科学映画監督でもあります。雪の結晶の仕組みを解き明かし、人工雪を作ることになり初めて成功した中谷宇吉郎博士との出会いから、生涯を雪の結晶の撮影に取り組みむことになりました。その中谷博士はベントレーの「雪の結晶 (Snow Crystals)」との出会いが雪の研究のきっかけとなったといいます。

大人のためのお話会

~昔話の語りをきいてみませんか~

くにたち図書館で行なっているお話会（昔話や物語等を語るストーリーテリング）を、大人の方向けに行います。ぜひご来場ください。

参加は無料、申込みは不要です。途中入場はできませんので、時間までにお越しください。

問合せ 中央図書館 042-576-0161

〈第五回〉

日時 1月29日(月)

午後2:30~(2:00開場)

場所 中央図書館2F

内容 「だいくとおにろく」

「オールダリー山の魔法使い」など

お話 くにたちお話の会

次回は2月23日(金)です。



1月の各図書館イベント一覧



中央図書館	北市民プラザ図書館	南市民プラザ分室	下谷保分室	青柳分室	東分室
042-576-0161	042-580-7220	042-580-7216	042-580-7215	042-540-7367	042-580-7219
●おひざにだっこ (0~2歳)	●わらべうたであそぼう (1歳半~3歳)	月・水・木・金 午後2時-5時 土・日 午前10時-5時	月・金 午後2時-5時	水・金 午後2時-5時	水・木・日 午後2時-5時 金・土 午前10時-5時
第1・2水曜日 ①午前10:00- ②午前10:30- →1/10	第4月曜日 午前10:30- →臨時休館のため お休みです	●南書庫公開 第2・4土曜日 午前10:00-正午 →1/13, 27	●えほんとおはなしの じかん 毎週月曜日 午後3:00- →1/15, 22, 29	●おひざにだっこ (0~2歳) 第1・3・5水曜日 午後3:00- →1/17, 31	●おひざにだっこ (0~2歳) 第3土曜日 午後3:00- →1/20
●えほんのじかん (2歳以上) 毎週水曜日 午後3:00- →1/10, 17, 31	●えほんのじかん (2歳以上) 毎週水曜日 午後2:30- →1/10, 17, 31	●えほんのじかん (2歳以上) 第2・4水曜日 ①午後3:00- ②午後3:30- →1/10, 24	谷保東分室 042-580-7214 水・金 午後2時-5時	●えほんとおはなし のじかん 第1・3・5水曜日 午後3:30- →1/17, 31	●えほんのじかん (2歳以上) 毎週水曜日 午後3:30- →1/10, 17, 24, 31
毎週土曜日 午前11:00- →1/6, 13, 20, 27	●おはなしのじかん (5歳以上) 毎週水曜日 午後3:30- →1/10, 17, 31	毎週日曜日 午前11:00- →1/7, 14, 21, 28	●えほんとおはなしの じかん 毎週金曜日 午後3:00- →1/5, 12, 19, 26	●工作のじかん 第4水曜日 午後3:30- →1/24	毎週金曜日 午後3:30- →1/5, 12, 19, 26
●おはなしのじかん (5歳以上) 毎週水曜日 午後4:00- →1/10, 17, 31					毎週日曜日 午後3:30- →1/7, 14, 21, 28
毎週土曜日 午後3:00- →1/6, 13, 20, 27					●おはなしのじかん 第2・4金曜日 午後3:45- →1/12, 26
●かみしばいのじかん 1月はお休みです					

開館時間

中央図書館

午前9:30~午後7:00
(土・日・祝日は午後5:00まで)

北市民プラザ図書館

午前9:30~午後5:00
(祝日を除く水曜は午後7:00まで)

【祝日の開館について】

中央・北市民プラザ図書館は、祝日も開館
各分室は、開室日が祝日にあたる場合は休室、
ただし、祝日が土日の場合は開室いたします。

ボランティア紹介:「絵本の読み聞かせボランティア」

中央図書館の「えほんのじかん」「おひざにだっこできく絵本読みのじかん」などで活動しています。図書館だけでなく、児童館での「カンガルー広場」や、子ども家庭支援センターなどでの読み聞かせも定期的に行なっています。

これらの活動が評価され、「本を通じて青少年の健全育成に尽力」した団体として、平成29年11月に国立市市民表彰を受賞しました。

